



東中だより



No.6 令和2年10月27日 伊丹市立東中学校長 垣内 修

3年生 体育演技発表会

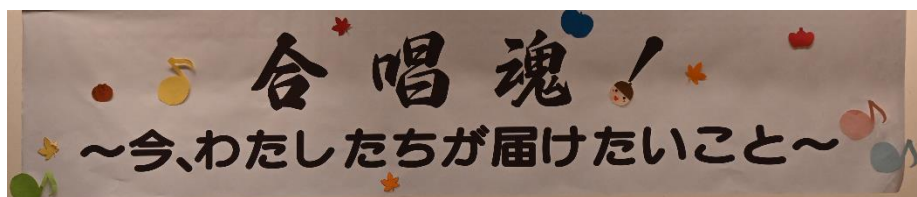
令和2年10月16日(金)7校時、秋晴れの晴天のなか、3年生の体育演技発表会を開催しました。男子のダンス「感電」、女子の「リズムなぎなた&ダンス」。練習のときから3年生の「頑張る気持ち」、「一生懸命さ」が、見ていて強く伝わってきました。

男子のダンスは、ノリが良くて力強く、とてもかっこいいと思いました。女子の「リズムなぎなた」は凛として姿勢が美しく、ダンスは、複雑な動きをリズムよくこなして、これもまた、かっこいいと思いました。思いが詰まったダンスで盛り上がり、一体感を感じる演技発表会でした。それぞれが自分のできることを一生懸命行い、そして、認め合う雰囲気は、これからの学校生活、そして、その先の人生も豊かにしていってくれることと期待しています。

そして、この3年生の「演技」、また「演技」に向かう一生懸命さというのは、必ずや後輩たちに伝統として受け継がれていくことでしょう。



3年生 合唱発表会「合唱魂！！」



10月21日(水)5・6校時、3年生の合唱発表会を体育館で開催しました。

新型コロナウイルス感染症防止対策のため、マスクをつけ、距離を開けての実施でした。生徒から募集して決まった大会名は、「合唱魂！！～今、私たちが届けたいこと～」。

3年生の心のこもった歌声に、魂のこもった歌声に、その一生懸命に歌っている皆さんの姿に感動しました。歌声から、友達や保護者の方へ、先生、地域の方、先輩、後輩、いろいろな人への感謝の気持ちが伝わってきました。心を一つにして一生懸命頑張ることが、今しかできないことを真剣に取り組むことが、こんなに素晴らしいことだと、今、心から感じています。本当に素晴らしい歌声でした。皆さんの合唱を聞くことができて幸せに思います。素晴らしい合唱をありがとうございました。

発表会の最後には、代表の生徒からあいさつがありました。「皆さん練習の成果は発揮できましたか。少ない練習の中で素晴らしい合唱はできましたか。きっとそれぞれ今年の合唱魂

から得られるものがあったと思います。新型コロナウイルスに負けずに、このように学年で集まることができたこと、合唱魂を開催できたのは先生方や仲間の支えがあったからです。あと半年の学校生活を、この学年らしく感謝の気持ちを忘れずに過ごしましょう。」

どのクラスも素晴らしい合唱でしたが、結果は、金賞3組・銀賞6組・銅賞5組でした。発表会終了後にはサプライズがあったようです……

合 唱 曲

1組	「手紙」	2組	「結」
3組	「天の川」	4組	「YELL」
5組	「友～旅立ちの時～」	6組	「証」



※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため今年の体育大会及び学習発表会は中止になりましたが、学年ごとに体育演技発表会、そして合唱発表会を開催しております。体育演技発表会ならびに合唱発表会ともに、本来なら保護者の方々にご観覧いただき、生徒たちにご声援を頂きたいところではあります。感染拡大防止対策のため、学年ごとに生徒のみの開催としております。

しかしながら、今回の体育演技発表会及び合唱発表会での子どもたちの頑張りを保護者の方々に何とかお届けしたいと考えております。そのため、体育演技発表会と合唱発表会の記録を学年ごとにDVDに収録し、全保護者の皆様にお届けしたいと考えておりますので、皆様には何卒ご理解いただきますようお願いいたします。



2年生 トライやる・ウィーク

令和2年10月21日(水)、2年生がトライやる・ウィークを実施しました。地域の方(町の先生)に講師として学校に来ていただき、講話と体験活動を行いました。3クラスずつ5グループに分かれ、①スポーツ関連、②落語体験、③たみまるマスコット作成、④サイエンスマジック、⑤火起こし・まが玉作りを体験しました。

スポーツ関連では、運動指導やトレーニング、地域スポーツについて学び、ハムストリングのストレッチ方法など具体的なトレーニング方法を体感することができました。落語体験では、実際の落語に触れるとともに日本の伝統芸能の落語について楽しく学びました。たみまるマスコット作成では、フェルト製のマスコットを実際に手縫いで制作し、伊丹市のキャラクター「たみまる」を身近なものに感じることができたようです。サイエンスマジックでは、金属製の鎖にリングを滑らせて落とすと自然に絡まるという不思議な現象を体験し、3種類のマジックに皆興味津々で驚きがありました。火起こし・まが玉作りでは、板とひもを使ったシンプルな火起こし道具を使用しての火起こしに悪戦苦闘しましたが、貴重な経験ができたと思います。グループごとに充実した1日を過ごすことができました。講師の先生方、お忙しいところご指導ありがとうございました。



吹奏楽部「たそがれコンサート」

10月17日(土)午後4時30分から伊丹アイフォニックホールで吹奏楽部の「たそがれコンサート」が行われました。今年のスローガンは「一音結奏～全てのお客様の心に響く思い出を～」。全11曲(+アンコール曲)をパフォーマンスを交えながら中学生らしいフレッシュな、みずみずしい演奏を披露してくれました。また、途中にはダンスやクイズもあり観客を楽しませてくれました。

今年は、新型コロナウイルスの影響で約3ヶ月半もの間、活動ができませんでした。部活動が再開できたのは6月下旬。それ以来、個人練習に始まり、楽器のパートごとに練習、そして教室の換気や消毒に加えて、距離をあけて演奏するなどの対策を重ねながら、ようやく演奏会を開けるようになりました。部員たちにとって、この「たそがれコンサート」が、今年度初めての演奏会となりました。特に3年生は、ここまで、厳しい状況の中でも、常に前を向いて、目標を持って、後輩を引っ張り頑張ってきました。このステージに向けて、そして皆さんの心に響く演奏を届けるために、日数の少ない中、一生懸命頑張って練習を重ねてきた演奏会は、心温まる「東吹サウンド」が、しっかりと観客の皆さんに響くとても素晴らしいものでした。

